

高度環境政策・技術マネジメント 人材養成ユニット

教授
石田 秀輝



助教授
古川 柳蔵



研究員
高山 陽子



ユニット博士課程のカリキュラム



ユニットの学生



スクーリング風景



第1回 SEMSaT セミナー

次のステージへ

1. 新たに始まるユニットの博士課程

本ユニットは、平成17年10月に科学技術振興調整費の新興人材養成プログラムとして修士コースが開始された。翌年、平成18年10月には、博士コースがスタートし、これで修士課程、博士課程の両輪による人材養成が始まったことになる。

地球環境問題が深刻化する中、我が国において、企業の組織、機関の組織を変革し、サステナブルな社会に向けた企業の技術開発の将来展開、経営戦略、国際政策や自治体の環境政策に活かせる人材が圧倒的に不足している。

そのため、修士課程ではソリューション立案力に優れた企業や国際機関のリーダーとして活躍するプログラム・オフィサーやディレクターの養成を目指している。一方、企業や機関の対応としては科学を基盤としたソリューションを必要としており、環境科学のスペシャリストが自ら科学を利用して企業や機関のような組織のマネジメントに携わる機会が増加することが必至である。そのため、博士課程ではマネジメント力を持つ環境科学スペシャリストを養成することを目指している。本ユニットは、現在、我が国で圧倒的に不足しているマネジメント力を持ったリーダー養成のためのプログラムである。

2. 博士課程における新教育

今年度開始した博士課程は、通常的环境科学研究科の博士課程における教育内容に加えて、マネジメント力の養成も同時に行う特別コースである。特定分野の研究の深掘りだけでなく、高度環境政策や技術マネジメントに関する広

範なサステナブル分野の知識を身につけ、広い視野や高い視点に立って、物事の本質を見抜き、問題設定を行うことで、その最適なソリューションを導き出す実践力を身につけるトレーニング(OJT(職場の課題を検証するプロジェクト))を行う。eラーニングの活用と集中講義の組み合わせにより、マネジメントがわかるスペシャリストの養成するカリキュラムとなっている。本ユニットの博士課程開設に伴い、必要とされる高度環境政策や技術マネジメント分野の3つの科目を立ち上げた。

3. ユニットの学生(修士・博士)

平成17年度10月に修士課程の1期生11名(社会人)、平成18年度4月に修士課程の2期生8名(社会人7名、一般1名)が入学した。平成18年10月には博士課程の1期生4名(社会人)が入学した。また、平成19年度4月入学予定者は10名(社会人9名、一般1名)となった。社会人の学生は、製造業、素材産業、損保業界、マスコミ、環境コンサルティング、NPO、自動車業界、大使館など幅広い業界に属しており、また、名古屋、横浜、東京、新潟、仙台と日本の様々な地域に本拠地をおき、多地域・多業種の地球環境問題に挑む有志が集結し始めた。

4. ユニットの講義・eラーニング・OJT

平成18年には、修士課程1期生は合計6回、修士課程2期生は合計5回のスクーリングを実施した。その中でも、5月27日、28日には、「ゆりかごからゆりかごまで」のマイケル・ブラウンガート(ドイツ)非常勤講師、7月15日にはLCA手法の稲葉敦非常勤講師、9月16日、17日にはエコ・デザインのハン・

ブレット(オランダ)、ヤン・ディール(オランダ)非常勤講師、11月5日にはエコ・デザインの益田文和非常勤講師が、修士1期生・2期生との合同スクーリングを行った。

また、平成18年には、修士課程1期生には合計3回の、修士課程2期生には合計2回のOJT課題を与え、学生の実践トレーニングを開始した。第1回目のOJTでは、「地球環境問題メガトレンドを知る」ために、木材の需給、資源消費量削減などをテーマに課題が与えられた。第2回目のOJTでは、「立場を変えて思考する」ために、クルマと環境負荷低減や2030年に向けた生活者の意識改革をテーマに課題を与えてトレーニングを行った。

5. 海外環境教育プログラム調査

海外における環境教育プログラムのトレンドを把握し、ユニットのカリキュラム改善を行うため、英国・米国の環境スクール(インディアナ大学、エール大学、サセックス大学、インペリアルカレッジ、平成18年2月7日~17日)の訪問調査を行った。これらの大学は、公共政策と環境科学、ビジネススクールと環境科学、あるいは社会科学と環境科学のように、環境科学とその関連分野がタイアップしたプログラムを展開する特徴を持つ。今年度は、欧米の主要大学の環境スクールにおけるカリキュラムのトレンドを踏まえたユニットのカリキュラム改善に着手した。

6. ユニットにおけるその他活動

平成18年4月にユニットのホームページを開設した(<http://www.semsat.jp/>)。本ホームページでは、コラムを

発信し、ユニットの取組みを広めると共に、学生・教員が議論する場を提供している。

その他、以下の活動を行ってきた。

【セミナー・会議】

- ・ 第1回SEMSaTセミナー開催(東京都庭園美術館,平成18年7月24日)
- ・ ユネスコEESD国際会議オーガナイザー(中国清華大学,平成18年10月30日)
- ・ 第1回SMESaTワークショップ開催(吉水,平成18年12月15日)

【広報】

- ・ 2006年TOHOKUクラスターコラボレーション展示会出席(平成18年2月6日)
- ・ エコプロダクツ東北出展(夢メッセみやぎ,平成18年10月12日~14日)
- ・ 第4回環境技術シンポジウム出展(東北大学片平さくらホール,平成18年12月2日)
- ・ エコプロダクツ2006出展(東京ビッグサイト,平成18年12月14日~16日)

【入試説明会】

- ・ 春季入試説明会仙台開催(東北大学大学院環境科学研究科本館,平成18年5月13日)
- ・ 春季入試説明会東京開催(東京国際フォーラム,平成18年6月13日)
- ・ 秋季入試説明会東京開催(東京国際フォーラム,平成18年12月6日)